（新書） 医療安全に対する私の考え

--- 医療安全活動のリーダー達から ---

出版元: 一般社団法人　国際医療安全推進機構
〒113-0033 東京都文京区本郷 4-7-12-102
EAMAIL: msoffice@mspo.org　TEL: 03-6801-6922　FAX: 03-6801-6987

発行年月:　2024 年 4 月予定

購読申請:　https://forms.gle/BGh6X5Ew3ppoBJDn9
（個人購入）　デジタル版 2 千 500 円、　印字版 3 千 200 円　　消費税・送料別
（施設購入）　デジタル版 2 万 5 千円、　印字版 3 万 2 千円　　消費税・送料別

購読支払:　https://mspo.org/publication/

（共著者）　横倉義武、永井良三、高本眞一、深山正久、許俊鋭、
酒井亮二、海野信也、和田仁孝、勝村久司、井上清成

（趣旨）

1999 年 1 月に横浜市立大学の“患者取り違え事故”、2 月に都立広尾病院での“消毒薬の静注事故”、7 月に杏林大学の“割りばし事故”と相次いで発生した死亡医療事故がいずれも刑事事件に発展したことで、社会的に大きな注目を浴びました。1999 年を日本における「医療安全元年」と呼ばれることがあります。

日本ではこれを契機に医療の安全のための様々な活動が勃興しました。本書は、この時期にあって様々な分野で全く斬新な活動を提案・実施してきた日本の第一人者の方々に、その活動を振り返っていただき、皆さんに伝えたい思いを取りまとめたものです。

夜空に燦然とちりばめられた巨星のような先生方が激動期を駆け抜けた際の深く熱い思い、それらを踏まえた上での日本の医療安全活動に対する期待と要望を取りまとめました。

酒井亮二　国際医療安全推進機構理事長
著者一同

目次

日本の医療安全黎明期における主な医療事故の歴史
許　俊鋭　　東京都健康長寿医療センターセンター長、東京大学元特任教授

日本医師会での取り組みを通じて
横倉義武　　世界医師会元会長、日本医師会名誉会長

東大病院での活動(2003-2007)での活動を通じて
永井良三　　東京大学名誉教授(循環器内科)、東大病院元病院長、自治医科大学学長

患者中心の医療の理念の発展
高本眞一　　東京大学名誉教授(心臓血管外科)、日本心臓血管外科学会名誉会長

医療関連死と病理 ―20 年を振り返って
深山正久　　東京大学名誉教授(病理)、日本病理学会元理事長

医療におけるリスクアセスメントとリスクマネージメントを振り返って
酒井亮二　　国際医療安全推進機構理事長、国際医療リスクマネージメント学会理事長
日本予防医学リスクマネージメント学会元理事長

私の取り組みを通じて
酒井亮二　　国際医療安全推進機構理事長、日本医療安全学会元理事長・名誉フェロー
スイス連邦工科大学元教授(医学リスク統計)

産科医療補償制度　発足の経緯を通じて
海野信也　　北里大学名誉教授(産婦人科)、北里大学元病院長

医療事故後の対話と関係調整モデルの普及を通じて
和田仁孝　　早稲田大学法学学術院教授

私が「医療への患者参加」を求め続けた理由
～中医協・産科医療補償制度・群大事故調の委員経験をふまえて～
勝村久司　　医療情報の公開・開示を求める市民の会

私の取り組みを通じて
井上清成　　井上法律事務所所長